



互いの個性や特性を大切にし、豊かな人間関係を築く

全国の小学生による「こどもの本 総選挙」が行われ、その結果、『ざんねんないきもの事典』という書籍が第一位に選ばれました。

どんな生き物のどんなところが「ざんねん」と思われているのか、その具体例として、「イルカ」が〈残念な生き物〉として紹介されています。理由は、「イルカは眠ると溺れてしまうから」だそうです。イルカはとても知能が高い動物で、表情にも可愛らしさがあり、水族館では、数頭が群れになって水上を跳びはねたり、人を乗せて水面をすべるように泳ぐ芸を見せてくれたりする、子どもから大人気の動物です。そんなイルカが「ざんねんないきもの」として紹介されていることに首を傾げてしまいたくなりますが、この『事典』の監修者である動物学者の方が、「眠ると溺れてしまう」というイルカの特徴について次のような説明を加えています。

動物には様々な特徴があります。その特徴が、一面から見ると「かわいらしい」「賢い」と見えても、別な面から見ると、「不思議なこと」「親しみにくい」と受け止められることもあります。動物の特徴を、「欠点とみるか、ユニークなこととみるか」の受け止め方によって、色々なとらえ方や楽しみ方があり、その動物についての評価も大きく変わってきます。

私たちは、学校生活でも社会生活でも、多くの人と接しながら、日々を過ごしています。学校であれば、いろんな性格や特性をもった生徒が集まっているからこそ、学校やクラスで友だちと過ごす時間に価値があるのだと思います。

周囲の人の特徴をみるときにも、加点思考（「プラスの特徴」として見る）か、減点思考（「マイナスの特徴」として見る）かという考え方一つで、周囲の見方だけでなく、自分自身の省（かえり）み方まで変わってくるにちがいません。

みなさんは、周囲の人の特徴を「ユニークな点」ととらえずに、「欠点」ととらえてしまいがちですか。あるいは、その特徴を「ユニークなこと」と高く評価して、そのユニークなことを参考に、多くを吸収しようとする方でしょうか。

『ざんねんないきもの事典』の監修者のように、周囲の人や物の特性を加点思考で興味をもち、積極的に楽しむ心構えが、よい人間関係を築き、社会生活を営む上ではとても大切になります。

コミュニケーションのツール（道具）として SNS を利用する場合にも、特定の誰かの欠点だけを話題にして、陰に隠れるようにその人の悪口を言ったり、ある誰かの言動についてマイナス評価で盛り上がりやすくなることは、とても「ざんねん」なことです。

私たち誰もが、加点思考で周囲の全ての人のユニークなところを認め合い、それをその人のもつ長所と受け止められる心構えをもつことこそが、毎日の生活を豊かなものにしてくれるはずです。

6月は「いじめ見逃しゼロ強調月間」です。

周囲のともだちのいろいろな特徴をユニークなこと、自分にはない素晴らしい点と、加点思考でみる習慣をもち、誰とでも分け隔て（わけへだて）なく付き合う心構えを大切にしましょう。



新発田市内大会で、選手たちが躍動しました

6月6日（水）、7日（木）の2日間、新発田市中学校体育大会が開催されました。学校の授業日に「市内大会」が開催されるのは今年度が最後です。「最後の市内大会」という節目に、佐々木中学校の陸上競技部、剣道部、柔道部の選手が見事な活躍を見せてくれました。

各部の部長から大会を終えての感想と下越大会へ向けての意気込みを聞きました。

自己ベスト更新と県大会出場権の獲得を目標に 陸上競技部 部長 3年I

今回の市内大会2日間のチームとしての応援は、応援席での応援の声もしっかりと出ていて、とてもよかったです。特に、上級学年の声援が響いていたので、1・2年生には、これからの上位大会でもっと大きな声でチームの仲間を応援できるように心掛けてほしいです。チーム全体の成績の面では、目標としていた「全員入賞」は実現出来ませんでしたでしたが、私が思っていた以上に高順位での入賞者がたくさんいたこと、自己ベストを更新できた選手が多かったことが大きな成果でした。特に、2年生の中に記録が上がった選手がたくさんいました。

フィールド競技では、「砲丸投げ」や「円盤投げ」の入賞者が昨年度と比べて多くいました。トラック競技でも、長距離走の種目で多数の入賞がありました。この2つは今年度のチームの大きな特色です。

私が出場した種目では、800mでは久しぶりに自己ベストを更新することができて嬉しかったです。レース前には40秒台を目標タイムに設定していましたが、本番では38秒台を出すことができ、今後の自信になりました。1500mでは、8位に入賞はできましたが、タイムが伸びな



かったため、今後の課題として、練習をがんばっていきたいです。

さらにレベルが高くなる下越地区大会では、全員が一丸となって応援し、出場する選手は、積極的な気持ちを忘れずに競技に臨んでいきます。そして、自己ベストの更新や県大会出場権獲得という成果の一つでも多くもち帰りたいです。

	種目	順位	選手氏名(学年)	記録	順位	選手氏名(学年)	記録
男子結果	走り幅跳び	優勝	SY(3)	5m69			
	三段跳び	2位	SY(3)	11m47			
	円盤投げ	3位	YR(3)	30m16	5位	TR(3)	28m13
	砲丸投げ	4位	YR(3)	9m05	7位	TR(3)	7m67
	四種競技	3位	KH(3)	1272点	5位	SY(2)	1138点
					6位	IN(2)	1085点
	110mハードル	6位	KH(3)	19秒57	7位	SY(2)	19秒64
	400m	7位	SY(3)	1分04秒33			
	3000m	7位	IT(3)	10分35秒19			
	4×100mリレー	7位	KH(3)、TR(3)、SY(3)、YR(3)				
低学年リレー	5位	TR(1)、IN(2)、NK(1)、SY(2)					55秒34

	種目	順位	選手氏名(学年)	記録	順位	選手氏名(学年)	記録	
女子 結果	3年100m	2位	IA(3)	13秒62				
	3年200m	2位	IA(3)	28秒04	7位	IY(3)	34秒81	
						8位	NM(3)	41秒28
	円盤投げ	2位	IM(2)	9m33				
	砲丸投げ	2位	IM(2)	20m51	5位	SH(2)	17m05	
	四種競技	6位	KR(2)	1494点	8位	KM(2)	1463点	
	走り高跳び	3位	KR(2)	1m34				
	100mハードル	6位	MM(2)	18秒08	8位	FH(3)	18秒15	
	800m	7位	IS(3)	2分38秒02				
	1500m	8位	IS(3)	5分34秒00				
	4×100mリレー	4位	MM(2)FH(3)KM(2)IA(3)					55秒40
	低学年リレー	順位なし	SH(2)KR(2)GS(2)IM(2)					58秒22



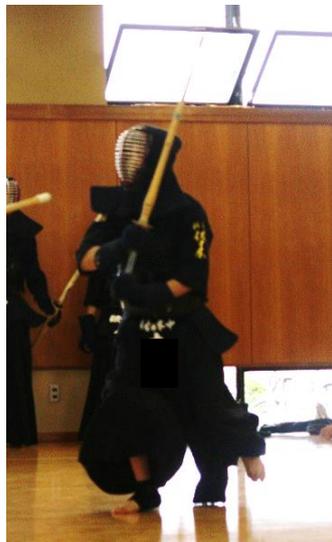
新発田市大会での悔しさをバネに

3年 IA

市内大会直前に足を痛めましたが、
すっかり治りました。最後の市内大会
で優勝出来なくて残念でしたが、下越
大会では100mと200m共に、3
位以内入賞を目指して走ります。



女子低学年リレーは、オープン参加のため、順位はありません。



ベスト8の要因は「声」です。

2年 S

個人戦で勝ち上がることができた要因は、試合中にしっかり声を出すことができたことです。相手の動きをよく見て、どう打ってくるかを予測するように努めました。



団体戦	準優勝
個人戦	2位 1 (3年)
	5位 1 (2年)
	5位 0 (2年)
	5位 S (2年)



厳しい場面でも落ち着いた試合運びを 剣道部 部長 I

今年度が最後の市内大会ということで、なんとしても優勝旗をもち帰りたいのですが、その目標が叶わず残念でした。大会前にも、いつも指導していただいているコーチの方から「苦しい場面になっても、落ち着いた試合運びを心掛け、試合の流れを考えて戦いなさい」と助言を受けていたので、一戦一戦、集中することだけを考えて試合に臨みました。個人戦でも団体戦でも H 中の同じ選手と対戦しましたが、小学校低学年の時からずっと競いあっている相手なので、次の対戦では雪辱を果たしたいです。後輩の2年生はとても緊張していた選手もいました。集中しすぎて技が単調になってしまった選手もいました。その反省点を修正して、下越大会に挑みたいです。これからの試合でも、「声を出す」ことを大切にして、声で

相手を威圧するくらいの気持ちで戦います。大事な大会が続きますが、みんなの力を結集して優勝を獲得し、大会後には、コーチや保護者の人たちと一緒に笑顔で記念撮影をしたいです。



クラスのみんなの激励の言葉が大きな力になりました 柔道部 部長 S

市内大会直前に、学級担任の鈴木伸先生のアイデアで「3年生の選手をクラスメートで激励しよう」という時間があり、クラスの友だちから激励応援のメッセージをたくさんもらいました。クラスメートから書いてもらえた言葉がとてもうれしくて、とても力になりました。今考えると、そのメッセージが今回の優勝の一番の原動力でした。

市内大会前は練習会が数回ありましたが、大会へ出場することがほとんどなかったもので、久しぶりに大会独特の雰囲気や緊張感を体験しました。他校の選手も力を付けてきており、少し不安な気持ちにもなりましたが、これまで練習を重ねてきたことを信じ、大会に臨みました。顧問のO先生からは、「今年が最後の市内大会だから、優勝をねらって、出場する階級の優勝カップをもち帰り、柔道部の財産にしよう」と励まされました。昨年の大会で県大会まで出場できたので、他校の選手から「蘭依さんが優勝候補だね」と言ってもらってプレッシャーも感じましたが、そのプレッシャーを力に代えて、一戦一戦を粘り強く戦いました。チームのHさんやTさんやSさんも力一杯戦ってくれました。先輩として後輩に助言するとすれば、「途中であきらめそうになる気持ちをもたずに、最後まで強気で攻め続けることが大切だ」と伝えたいです。1年生は今回の大会には出場できませんでしたが、大会の補助役員としてがんばってくれました。役員を務めながら、集中して自分の役割を果たし、私たちの試合を一生懸命に応援してくれました。下越地区大会では、団体戦では萌花さんと一緒に互いに支え合い励まし合い戦い、個人戦でも新発田市代表として優勝を目指して、

気力を充実させて戦い、昨年度に続いての県大会出場権を必ず獲得します。

2年 T

市内大会の自己評価は「可もなく、不可もなく」というところです。Rさんのように、相手と組む時には、頭をちゃんと上げて、相手としっかり向き合って試合できるように心がけたいです。



主な結果

女子個人戦 優勝 S (3年) 3位 T (2年)

男子個人戦 3位 N (2年)

1. 2年生が見た「市内大会」での先輩たちの活躍

1年 NK（陸上競技部）

市内大会では、3年生、2年生の先輩が僕たち1年生を一生懸命に引っ張ってくれました。先輩は、自分が出場しなければならぬ競技がある中、僕たちに補助役員の仕事を教えてくれたり、競技について分からないことを教えてくれたりしました。応援席では、優しく、「もっと大きな声を出した方がいいよ」と言ってくれました。これからも、3年生や2年生を見習って、がんばって練習を続けて、僕も来年入部してくる後輩に優しく接する先輩になりたいです。



1年 TR（陸上競技部）

2・3年生の先輩のなかには、優勝した人や入賞した人がたくさんいて、「すごい」と思いました。僕もこれからの毎日の練習をがんばって、優勝や入賞することができる選手に一步でも近づきたいです。6月末の下越地区大会では100mと200mに出場します。先輩たちを見習って、最後までしっかり走り切りたいです。

1年 TA（柔道部）

柔道部部長のSさんは、毎日の部活動の練習ではいつも、自分の練習する時間をけずって、私たちに技のかけ方や基本の技術などを教えてくれています。市内大会当日はじめて、蘭依さんが柔道の試合をする姿を見ました。試合をしている蘭依さんを見て、すごく「カッコいいな」と思いました。



1年 GS（柔道部）

市内大会に初めて参加しました。大会の会場には新発田市内の中学校の柔道部員や応援の保護者が集まっていました。あんなにたくさんの方が試合を見ている中で、Sさんが個人戦で優勝をすることができるなんて、本当にすごいなと思いました。試合の中で、Sさんが技をかけようとしたり、相手のバランスをくずそうとしたりして、すごく真剣に取り組んでいたことが分かりました。

1年 KA（柔道部）

試合中に相手を投げるときに、「エイっ」「やあっ」と大きな声を出して、自分の持てる力をすべて出そうとして戦っている姿が、とてもカッコよかったです。今後、出場できる大会や練習会などの場で、蘭依さんのような大きな声で相手を攻めることができるように、私もがんばりたいです。



2年生 YH、OT、SM、YK、IK（剣道部）

奏七汰さんはメンタルが強い。いざとなった時の強さを感じます。試合で、先に1本取られても全力で取り返し、先に1歩取っても、どんどんもう1本を取りに行く姿勢があります。打ちにいった後も、打ってこられた時にも、すぐに自分からまた技を出せる場所もすごい。練習の時から、本番の試合のように全力で取り組んだり、コーチのTさんに指導されたことをすぐに実践に移そうと工夫したりして、剣道に真剣に取り組む姿勢を見習いたい。

平成30年度第一回生徒総会が開催されました



5月24日（木）に今年度第一回の生徒総会が行われました。
生徒会長のSさんから「今年度生徒会スローガン」や今年度の活動方針について、次のような説明がありました。

平成30年度 生徒会スローガン

Step To The Future

～想像をカタチに～



スローガン 完成図案

「今年度のスローガンは『**Step To The Future**（ステップ トウザ フュウチャー）～想像をカタチに～』です。『**Step To The Future**』とは、「未来への前進」という意味です。去年、佐々木中学校は創立70周年の記念行事を行いました。今年度は創立72年目となります。節目の年に向けた佐々木中学校。今ある「集団行動 巴」や「佐中サーキット」など、先輩から受け継いできた伝統や誇りを、次の世代へ引き継いでいけるように。私たちが、今ある佐中独自の様々な取組の意義をしっかりと理解し、さらによりよくしていけるように。未来に前進していけるように。という願いを込めて、このスローガンに決定しました。今年度の佐中生徒会は、このスローガンのもと、様々な行事で一人一人が積極的に活動し、今以上により学校をつくっていけるように、生徒会総務員自らがその模範となって活動していきたいと思えます。会員のみなさん、今年1年間、ご協力をお願いします。」



委員会名	平成30年度 年間活動目標
生徒会本部	まず最初の一人になり、道を拓く
応援団委員会	あいさつ&笑顔満開 ～日本一元気な学校への第一歩～
広報委員会	給食の時間をもっと楽しんでもらえるような放送 図書室を快適にし、利用者を増やす
整美ボランティア委員会	過ごしやすい学校 ～花・緑・環境～
保健体育委員会	全校生徒が笑顔で健康に、学校生活を送れるように全力でサポートする

給食後にも歯磨きを心掛けよう

今年度始めの「口腔検査」の結果は右下の表のとおりです。「う歯」と診断された2年生は0名、「歯垢」と診断された3年生も0名と学年によっては好結果でしたが、在籍生徒全体の中での割合を見ると、「歯肉炎」で3割以上、「歯垢」でも約2割が歯科保健指導の対象という結果となりました。4月末にご家庭に向けて、「毎週1回、学校でフッ化物洗口を実施する」旨の文書をお届けしましたが、学校での取組と併せて、ご家庭でも、お子さんの歯の健康を考えての次の3つのご指導をお願いいたします。

H30年度 歯科検診結果		
	生徒数	割合
う歯	6	9%
歯肉炎	22	33%
歯垢の付着	13	19%
*「う歯」=むし歯のこと		

歯の健康に向けてのご協力のお願い

- 1) 歯科検診結果で、該当生徒には「通院加療」が必要との受診勧告が届けられています。すみやかに歯科医院への受診をお願いします。
- 2) 日頃の歯磨き習慣の徹底をお願いします。
- 3) 学校に**歯磨き道具一式**を持たせてください。

7月には、保健体育委員会の取組として「歯の衛生週間」が、全校一斉に行われます。



剣道部や陸上部が各大会で活躍！

ライオンズ少年武道大会で見事優勝！



6月10日（日）に、新発田市カルチャーセンターで行われた「第50回ライオンズ少年武道大会」で剣道部が団体戦の部で優勝を収めました。また、個人戦の部でも、3年生Iさんが優勝しました。



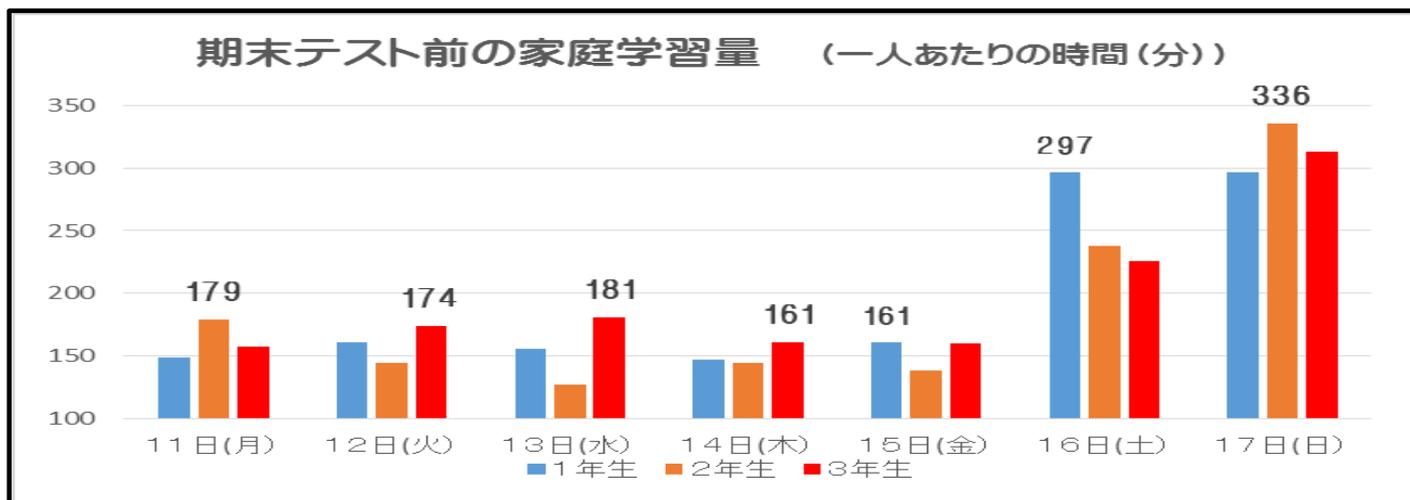
4月29日（祝）に胎内市陸上競技場で行われた「陸上下越選手権」では、3年生Sさんが男子走り幅跳びで優勝、100メートルでは3年生Iさんが3位に入賞しました。



下越陸上選手権 「走幅跳び」の助走スタート

毎日の家庭学習習慣を継続し、決めた時間に机に向かう

6月18日(月)、19日(火)の1学期期末テストが終了しました。テスト勉強として家庭学習に取り組んできました。毎日の各学年の学習量は下のグラフの通りです。学力向上のためには、定期テストを終えたこれからの毎日の学習習慣が最も大切です。帰宅後には、自分が決めた時間帯に必ず机に向かう習慣を持ち続けましょう。



1学期のこれまでの学習内容について、「勉強になったこと」や「自分のためになった学び」などについて、全校生徒にアンケートをしました。生徒の回答のいくつかを紹介します。

1年男子 SK

小学生のときは英語で話すことができなかったけど、中学校で英語の授業が始まって、英語で話せるようになってきたし、英語の意味も理解できるようになってきました。特に、be動詞や一般動詞の働きが分かるようになりました。

1年男子 YR

数学の勉強をして、計算するスピードが速くなりました。数学担当の大久保先生が、僕たち一人一人に適切なアドバイスをしてくれます。分からない問題に取り組んでいる時にも、大久保先生のアドバイスを参考にしたら、解けるようになりました。解き方を分かりやすく何度も教えてくれるので、安心して計算できるようになりました。これからは計算のスピードだけでなく、正確に解けるようになって、テストでもよい点を取れるようにしたいです。

<学習時間>

	6月	11日(月)	12日(火)	13日(水)	14日(木)	15日(金)	16日(土)	17日(日)
1年生	合計時間	2525分	2590分	2655分	2510分	2590分	4765分	4765分
	平均時間	149分	161分	156分	147分	161分	297分	297分
2年生	合計時間	3465分	2735分	2280分	2740分	2580分	4522分	6385分
	平均時間	179分	144分	127分	144分	138分	238分	336分
3年生	合計時間	3925分	4010分	4175分	3700分	3700分	5205分	7205分
	平均時間	157分	174分	181分	161分	160分	226分	313分

2年女子 NR

総合学習の時間に「職業調べ」をしています。「まだ中学生なのに職業調べ？」と思いながら調べていましたが、仕事内容や給料などの情報だけでなく、仕事のやりがいについても調べることができました。職業に就くために必要な知識や技能が分かってきました。今は、保育士を調べていますが、次には看護師などの職業を調べてみたいです。

3年女子 SC

理科の授業で、「△△とは何か」「何で〇〇になるのか」と考えるのが楽しかったです。今まで学んだこと、自分の知識を総動員して考えて、頭の中で思考実験的なことをすると、細かく予想を立ててみるができるようになりました。その予想があっているか実験で確かめるのはすごく面白いし、予想が正しかったときには、すごく嬉しくなりました。こんな風に、楽しみながら学ぶことができ、さらに思考力がついてきたと感じられる学習でした。

スマホや携帯電話などの「SNS」との正しい付き合い方を学ぶ

6月13日(水)に、1年生が「SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)との正しい付き合い方」について学習しました。特に、友人とLINE(ライン)を使って情報をやりとりする上で気を付けなければならない点について学習を深めました。学習の様子を一部紹介します。

①メッセージをやり取りするときに気を付けたいこと

- 相手が、自分が送信した文章を読んだときにどんな気持ちになるかを考えて、読み取った相手が嬉しくなるような文を送りたい。
- 嫌だなと思う理由は人それぞれだから、送信しようとする文をちゃんと読み返すなどして、相手の気持ちを考えたいです。
- 送信する自分が、相手に嫌な気持ちにさせるつもりが少しもなくとも、受け取る相手が「嫌だな」と思うってしまうこともあるということが分かりました。



②「自分が知らないところ」で自分の話題が出ていることは、「いやだな」と思う理由

- 知らないところ(グループ内や個人間)で自分の話題が出ることは、悪口を言われているかもしれないと思うから
- 自分の個人情報がいろんな人に広がっているようで嫌です。



③話をしている時に、相手がスマホをさわっている態度が「いやだな」と思う理由

- 自分が真剣に話をしようとしているのに、まじめに聴いているという態度が感じられない
- 自分が話していても、相手がスマホをさわっていると、話している意味がないように感じるから



「人によって受け止め方は様々だとわかりました。気付かないうちに人を傷つけないように気を付けたいです。」という感想がありました。上記「③」は、親子での会話のときにも気を付けたいポイントです。

防災学習の一環として、中越地震震災アーカイブセンター等を訪問します

10月29日(月)に、全校生徒で中越方面(長岡市等)を訪問し、中越地震についての現地学習を行います。2004年に新潟県中越地方に大きな被害をもたらした中越地震からまもなく15年が経ちます。地震や水害などの自然災害はいつ発生するかわかりません。私たちは、常に万一の非常変災の発生に備える心がけをもつことが求められています。



佐々木中学校では、年間数回の避難訓練を実施し、生徒と教職員とが一緒になって、非常変災時の対処の仕方を身に付けています。「自分の命は自分で守る」「非常時には、中学生として社会に役立つ貢献ができる力を身に付ける」という心構えも忘れないようにしたいものです。

6月18日 避難訓練